

2023年度 関私教協 第6回幹事校会議事録

1. 日時：2023年9月25日（月）18:30～20:00
2. Zoom 会議
3. 出席者

【幹事】高瀬 幸恵(桜美林大学・事務局長)、池田 賢市、高木 雅史(中央大学・事務局次長)、尾高 進(工学院大学)、小林 大祐(慶應義塾大学)、田村 真広(日本社会事業大学)、青木 研作(東京成徳大学)、後藤 正矢(多摩美術大学)、伊東 毅、谷川 美の理(武蔵野美術大学)、白石 一徳(文化学園大学)、森田 満夫(立教大学)、河村 久、田中 直樹(聖徳大学)、北村 篤司、横澤田 朋美(昭和音楽大学)、山崎 真之[遠藤 克弥代理]、堀井 英一(東京国際大学)、新田 司(千葉敬愛短期大学)

【事務担当】岩井 瑞恵 (桜美林大学)

【オブザーバー】黒岩 友見子 (桜美林大学)

【審議事項提案者】岡明 秀忠(明治学院大学・第6部会部会長)

4. 2023年度第5回幹事校会議事録の確認

高瀬事務局長より、第5回幹事校会議事録(案)が示され、承認した。

5. 協議

【報告事項】

(1) 研究部の活動について

- ・第2部会：9/7に第2回の部会を実施した。大学組織と教職課程の現状などについて所属大学の状況について情報交換を行った。12月初め頃に第3回の部会を持つ予定である。
- ・第4部会：9/30に帝京短期大学で対面形式にて部会を開催する予定である。議題は、実習の取り組み状況・課題、養成課程の設置科目の検討などである。
- ・第6部会：9/8にZoomにて研究部会を開いた。教育実習におけるハラスメントの実態調査についての検討を行った。
- ・第7部会：9/15に遠隔方式で部会を実施した。次回の部会は1月の実施を予定している。
- ・第8部会：10/3に行われる文部科学省の課程認定基準等改正についての説明会に有志で参加し、後に情報共有を行う予定である。その後、研究会を企画していく。
- ・北部地域：自己点検を終えての振り返りと今後の課題をテーマとした勉強会を実施する予定である。講師として育英大学の滝沢先生を招くこととなった。

(2) 広報部の活動について

- ・新田広報部長から、『会報』第94号の進捗状況について報告があった。現在のところ問題なく進んでいる。

(3) 次期幹事校へのアプローチについて

- ・Aグループ：候補となっている2大学に打診を行った。現在検討してくださっている。
- ・Bグループ：東京女子大学が引き受けてくださった。さらに候補を検討し、打診を行う。
- ・Cグループ：目白大学が引き受けてくださった。

(4) 全私教協 2023年度教職課程運営に関する研究交流集会について

- ・高瀬事務局長から、11/18(土)13:00から実施される全私教協の研究交流集会についてプログラムの紹介があった。理事については、交通費・宿泊費が関私教協より支給される。

(5) 2023年度会員校名簿について

- ・事務局より、更新された会員校名簿の情報が示された。この後、HPに掲載する。担当の教員・職員の名前を載せた名簿を、パスワードをかけて会員校にデータ送信する予定である。

【審議事項】

(1) 第6部会による実態調査に係る倫理審査について

- ・第6部会世話人・伊東幹事/第6部会・岡明部会長より説明があり、教育実習におけるハラスメ

ントについての実態調査に係る倫理審査依頼があった。倫理申請書および調査票に基づき、倫理審査を行い、これを承認した。

- ・実施主体や問い合わせ先を明記すること、調査対象者が後に調査結果にアクセスできる方法を示すこと、実習先として幼稚園・保育所・こども園・施設等複数ある場合を想定した設問にしてほしい等の意見があった。
 - ・関私教協事務局から加盟校に調査実施依頼を行い、各大学で学生を対象として実施してもらう予定である。
- (2) 部会等で研究等に必要となる書籍の購入について
- ・高瀬事務局長より、資料に基づいて説明があった。研究部、広報部、8研究部会（以下、部会等）での書籍の購入について、研究活動を進める上での意義を認め、資料に示された方法を基本としつつ、以下のような手続きの詳細について審議を行った。
 - ・書籍の購入者を部長や世話人に限定せず、部会等での相談や承認を経て研究報告等を担当する者が購入することを認める。
 - ・部会等における書籍の購入にあたって、予算を超える場合、幹事校会での審議を経て予算を追加配分し、全額を配分予算で対応することとする。
 - ・年限を2年間として償却する（登録の抹消）。
 - ・審議内容を整理して手続きの詳細を定め、会計監査担当に報告をし、意見を受けた上で、次回の幹事校会で最終的な承認を行うこととした。
- (3) 2023年度第2回研究懇話会について
- ・小林研究部長より、資料に基づいて準備状況について報告があった。第6部会の方々と相談しながら企画を進めている。テーマタイトルと趣旨文は現在検討中である。
 - ・10月中旬までにはプログラムの詳細を決定し、幹事校でのメール審議・承認を経て、10月中旬から下旬までに会員校に発信できるように進める。
 - ・会場は、中央大学駿河台キャンパスとし、ハイフレックス形式で実施する。対面は60名程受け付ける予定である。
- (4) 2024年度定期総会、合同研究大会、研究部総会、第1回研究部会について
- ・高瀬事務局長より、2024年度のイベントの計画について報告があった。5月に定期総会・合同研究大会、7月に臨時総会・研究部総会、第1回研究部会の開催を予定したい。詳細は引き続き審議を行うこととする。

【配付資料】

資料1：関私教協会長校・幹事校担当表

資料2：2023年度全私教協研究交流集会開催案内、プログラム

資料3：会員校一覧

資料4-1：倫理審査申請書（研究部・第6部会）

資料4-2：「教育実習におけるハラスメントの実態」調査依頼（研究部・第6部会）

資料5：研究部、広報部、8研究部会での研究等に必要となる書籍の購入について

資料6：2023年度第2回研究懇話会プログラム（案）

以上